

震災からの、これから。 “人として生きる”を考える

あれから一〇年。
あの時に感じたこと、
思ったことを覚えていますか？

——先輩が被災したと聞き、発生から一〇日後に奇跡的に辿り着いた宮城県女川町。そこで目の当たりにした光景に言葉を失った。

——それから延べ50回、現地の人の欲するものを聴きながら、「松葉杖」な活動を7年……

——行くと共に、東北の人たちの心に救われた。今ではまるで沢山の「親戚」ができました。

住職がご経験されたこと、出会いから…震災を振り返り、今、これから、大切なことについて、一緒に考えるひとときを過ごしましょう。



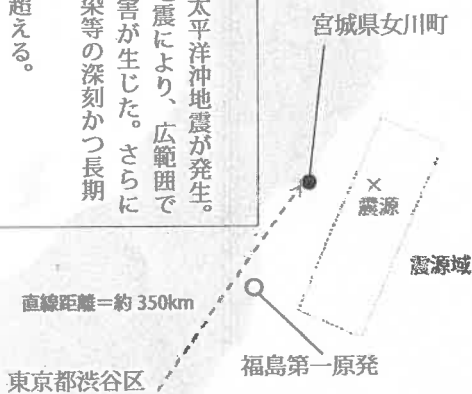
震災から10日後の女川



仕職なのに… サンタプロジェクト

講演会

■東日本大震災
二〇一一(平成二三)年三月一一日。東北地方太平洋沖地震が発生。最大震度7、マグニチュード9という超巨大地震により、広範囲での大きな揺れと、大津波、火災等で甚大な被害が生じた。さらに福島第一原子力発電所の事故により、放射能汚染等の深刻かつ長期的な問題が遺されている。
震災関連死も含め死者・行方不明者は二万人を超える。



企画展も同日開催!

日時：令和3年3月6日(土)
午後1時～5時
会場：2階 スタジオ1・2
※入場無料(事前申込不要)
同時にご入場いただける人数は20名まで

日時

令和3年3月6日(土)

午後三時～四時 (開場二時半)

会場

代々木八幡コミュニティセンター

〒151-0053 東京都渋谷区代々木五丁目一―一五

2階 ホール

定員

入場無料

先着五〇名まで (要事前予約)

講師

おか いていじゅん
岡 貞潤



渋谷区在住。宗信寺(平塚市)住職。代々木教会随縁会会長。震災の直後に宮城県女川町へ赴いて以来、信仰のご縁や町会の皆さん、SNS等を通じて、お会いしたことのない方々からも支援の輪が広がっていった。現地の人から「もう被災地でない!」という言葉を感じる。くことが出来たため支援活動を終える。

■コロナウイルス感染対策について

- ・スタッフはマスク及びフェイスシールドを着用の上で従事し、館内の消毒等、感染防止に努めます。
- ・定員をはじめ、ソーシャルディスタンスを確保した上でイベントを実施します。
- ・会場ご入場の際に、検温と手指消毒にご協力ください。
- ・館内ではマスクを着用いただく等、お客様自身においても感染予防対策をお願い申し上げます。
- ・風邪のような症状のある方は、ご来場をお控えくださいますようお願い申し上げます。

主催/株式会社渋谷サービス公社
企画・制作/株式会社シアターワークショップ

お申込み
お問合せ

<窓口・電話>

●代々木八幡コミュニティセンター ●シアターワークショップ・YCCイベント係

TEL 03-3466-3239

<WEB・メール>

●Peatix <https://ycc-salon311.peatix.com/>

●E-mail ycc@theatre-workshop.co.jp

TEL 080-7492-9689 (※平日 10:00-18:00)



Peatix